



高等学校

保健体育(保健)

2年生

## 事例について多様な視点から考える「労働と健康」の授業

事例を用いることで・・・



1 学習内容に興味・関心を持ちやすい



2 健康課題を捉えやすい



3 原因や解決策を具体的に考えることができる

事例



働く人の健康・安全に関する内容を総合的に捉えるための  
多様な視点から考える学習活動



労働者の立場



健康・安全を  
管理する立場



法律や制度

ここがポイント!



考える立場や側面を設定し、一つの事例について複数から課題や解決策を考えてみよう!

ペアで考えることで、同じ立場から考えても、他者の違った価値観や視点に気付くことができるよ!

### 授業実践の紹介① 事例「実際に起きた労働災害」

勤務先の建設会社で仕事中、ベルトコンベアが回る機械について「ゴミ」を取ろうとした。その瞬間、衣服が絡まり、腕がグイッと機械に引っ張られた。普通なら失神しそうなものだが、△△さんは無我夢中で事務所まで走った。助けを呼んだ後のことは覚えていない。搬送先の病院で意識を取り戻した時、医師から「すぐに助けを呼ばなければ、失血死するところだった。」「左腕だったら心臓が近いので命があったか分からなかった。」と告げられた。

本来、ベルトコンベアに直接触れる際は機械を停止する決まりだが、△△さんは、なぜ自分が機械を停止せずに回転するベルトコンベアに手を差し込んだのか、今でも理由がはっきりわからない。



事故が起きてしまった原因と、防止するための方法を

「労働者の立場」と「健康・安全を管理する立場」のそれぞれから考えましょう!

	<問題点>	<原因として考えられること>
①	△△さんが機械を停止しなかった	<ul style="list-style-type: none"> <li>•ベルトコンベアを止めると、仕事が中断されるから。</li> <li>•仕事に慣れてくると、注意が甘くなるから。</li> <li>•よくない習慣が染み付いているから。</li> </ul>
②	非常停止装置が機能しなかった	<ul style="list-style-type: none"> <li>•会社でつかっているものにその機能がないから。</li> <li>•壊れているから。</li> <li>•もし事故ではなかった場合、おしゃべり人がいなかったら。</li> </ul>



	△△さんの立場（個人の取組）	健康・安全を管理する立場（社会的対策）
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>•ルールを守って仕事をする。</li> <li>•安全意識を高める。</li> <li>•仕事をする前に安全確認をする。</li> <li>•非常停止のうががあるかを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•仕事をすすめるレベルのレベルを全員でやる。</li> <li>•人はばい、同じに居る人がいる状態にしておく。</li> <li>•仕事を終わらせる、せいかつする時は、おしゃべりする。</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>•</li> <li>•</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•他人の安全確認が守られるのを待つ。</li> <li>•自覚を促す。</li> <li>•同じの人がおしゃべりするのを環境でなくす。</li> </ul>

実際の生徒のワークシート

## 授業実践の紹介② 事例「社員の生活習慣に課題のある架空の会社」

〇〇社では、ここ数年で体調不良の社員が増加している事が問題になっています。あなたは、この問題を解決するために派遣されました。状況を把握するために、社長に聞き取りをしました。

うちの会社は一人暮らしをしている社員が多くいます。そのためか、朝食は職場でコンビニの菓子パンを食べる社員をよく見かけます。お昼ご飯は、会社の周りに飲食店が多くあり、みんな好きな物を食べています。午後は眠そうにしている社員が多く、作業の効率下がって困っています。

通勤に関しては、多くの社員が車で通勤しています。また、仕事はほとんどがデスクワークのため仕事中に体を動かすことはほとんどありません。学生時代に運動をやっていた社員が多くいますが、現在はほとんど運動をしていないようです。

これらの影響から、入社後に体重が増えた肥満傾向の社員が多いようですが、みんなまだ若いからか、健康状態や生活習慣に無頓着で困っています。

社員の健康を保持増進するための、会社が行う健康づくりの取組を「労働者の立場」、「健康・安全を管理する立場」、「法律や制度」など、多様な視点から考えましょう。  
また、課題点、取組の内容、期待できる効果を整理し、「〇〇社健康づくりプラン」として社員向けにプレゼンするための資料を作成しましょう。



NO.2

### 〇〇社 健康づくりプラン

デスクワークによる  
運動不足



会社に運動器具を設  
ける

- ストレス発散
- 気分転換によるパフォーマンスの向上
- 作業員同士で交流ができる
- 企業に対する満足度向上につながり業績アップが期待できる

ここがポイント!



作成した資料を使って、グループや全体で発表する場面を設定すると、他のペアの考えに触れ、より視点を広げることができるよ!

実際に生徒が作成した資料

詳細は、総合教育センターwebサイト、長期研究員 研究報告(R5)をご覧ください。